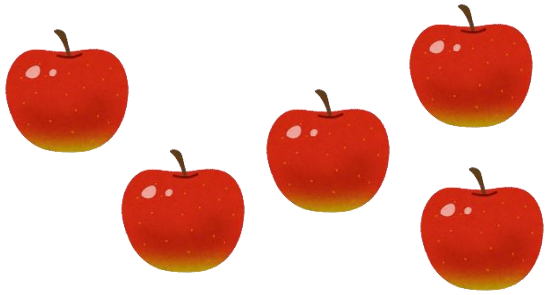
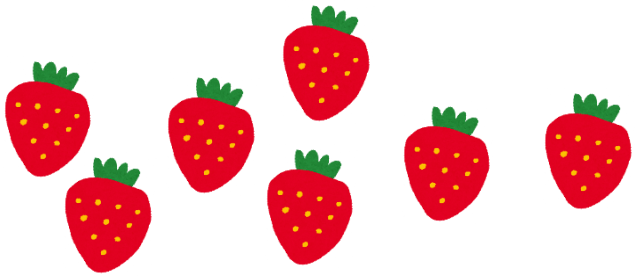
１ねんせい　さんすう　かずと　すうじ

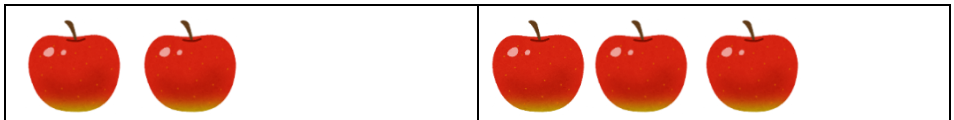
がくねん	１ねんせい	きょうか	さんすう	★☆☆☆
がくしゅうすること	かずと　すうじ			
やってみよう	いくつあるかな？			
どうやるのかな？	おうちの　なかには、いろいろな　ものが　あるね。 きょうかしょは　なんさつ　あるかな？ えんぴつは　なんぼん　あるかな？ こっぷは　なんこ　あるかな？ いろんな　ものを　かぞえてみよう。 			
保護者の皆様へ	身の回りにあるいろいろなものを数えながら、数に触れていきます。「これはいくつあるかな？」などと一緒に数えたり、お子様が数えたものを聞いてあげたりしてください。			

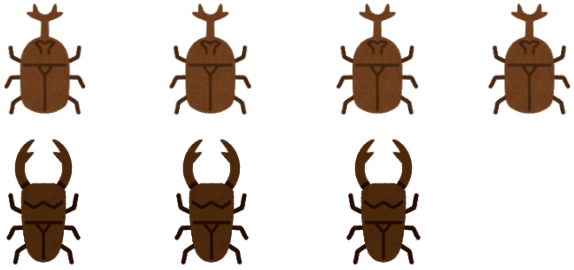
がくねん	１ねんせい	きょうか	さんすう	★★☆☆
がくしゅうすること	かずと　すうじ			
やってみよう	１（いち）から１０（じゅう）まで　かいて　みよう。			
どうやるのかな？	きょうかしょの　９（きゅう）ぺえじを　ひらいて　みよう。 ぼうしや　くるまの　えが　かいて　あるね。 いくつ　あるかな。こえに　だして　かぞえて　みよう。 かぞえたら、きょうかしょに　ある　すうじ　を　おてほんを みながら　ゆびで　なぞってみよう。 できたら、　１４（じゅうよん）ぺえじも　おなじように やって　みよう。 			
保護者の皆様へ	初めての数、数字の学習になります。「鉛筆は何本あるかな？」など、一緒に数えながら、楽しく数に触れてみてください。			

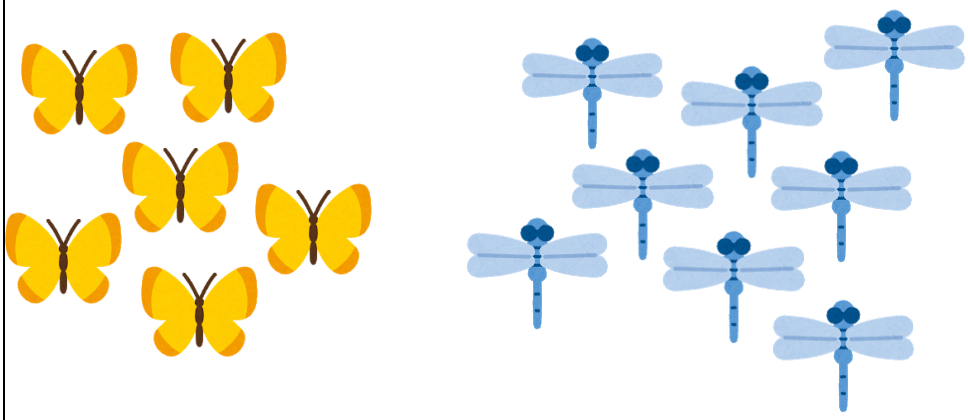
がくねん	１ねんせい	きょうか	さんすう	★★★☆
がくしゅうすること	かずと　すうじ			
やってみよう	なんこ　あるか　かぞえてみよう。			
どうやるのかな？	○みかんが　なんこ　あるかな？ ○りんごは　なんこ　あるかな？  ○いちご　は　なんこ　あるかな？  かぞえるとき　くふうしたことが　あったら　おうちの　ひとに つたえよう。			
保護者の皆様へ	ばらばらに並んでいたり、数が多くなったりすると数えるのが難しくなります。数図ブロックを使うなど、具体的に操作をしながら学習すると、数のイメージが膨らみます。 「ばらばらだと数えにくいから、きれいに並べて数えたよ。」などとお子様が工夫したことを伝えてきたときは、「すごい発見だね」と伝えてあげるとさらにやる気が高まります。			

<table>
<tr><td>がくねん</td><td>１ねんせい</td><td>きょうか</td><td>さんすう</td><td>★★★☆</td></tr>
<tr><td>がくしゅうすること</td><td colspan="4">かずと　すうじ</td></tr>
<tr><td>やってみよう</td><td colspan="4">いくつと　いくつに　わけられるかな？</td></tr>
<tr><td>どうやるのかな？</td><td colspan="4">５つ（いつつ）の　りんごを　２つ（ふたつ）の　はこに
わけてみましょう。いくつと　いくつに　わけられるかな？

○ したの　えは　いくつと　いくつに　わけているかな？

○ したの　えは　いくつと　いくつに　わけているかな？
 
○ほかにも　わけかたは　あるかな？じぶんで　わけてみよう。</td></tr>
<tr><td>保護者の皆様へ</td><td colspan="4">数を２つにわけることで、数についての理解を深めていきます。数図ブロックや、実際のりんごを使って、具体的な操作の中で数のイメージを膨らませることが大切です。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>がくねん</td><td>１ねんせい</td><td>きょうか</td><td>さんすう</td><td>★★★★</td></tr>
<tr><td>がくしゅうすること</td><td colspan="4">かずと　すうじ</td></tr>
<tr><td>やってみよう</td><td colspan="4">どちらが　おおいかな？</td></tr>
<tr><td>どうやるのかな？</td><td colspan="4">〇かぶとむしと　くわがたは　どちらが　おおいかな？
 
〇てんとうむしと　ばったは　どちらが　おおいかな？

〇ちょうと　とんぼは　どちらがおおいかな？
 
どちらが　おおいか　かんがえるとき　くふうしたことが
あったら　おうちの　ひとにつたえよう。</td></tr>
<tr><td>保護者の皆様へ</td><td colspan="4">　数図ブロックなど、具体物を使いながら学習すると、数のイメージが膨らみます。１つずつ対応させたとき、余った方の数が多いという感覚を身に付けておくことが大切です。</td></tr>
</table>